



南小だより

鶴岡市立櫛引南小学校
発行日 令和5年6月27日

地域と共にある学校づくりのために（第1回学校運営協議会の報告）

地域と共にある学校づくりの推進のため、学校評議員会を改め「学校運営協議会」という新たな組織を立ち上げました。14名の委員さんからそれぞれのお立場でご意見を聞かせていただき、その意見や思いなどを学校運営に反映することを目的としています。この会は年3回の開催を予定しておりますが、その1回目の会を6月9日に学校で開催しました。

当日は、委員の皆さまに委嘱状をお渡しし、学校の運営方針について説明した後ご承認をいただきました。その後3つのグループに分かれ、「みなみっ子のよさ・課題」をテーマに話し合いをしましたが、それぞれのお立場から様々なご意見を寄せていただきました。このご意見を、学校づくりや地域づくりにつながるよう活かして参りたいと思います。

櫛引南小学校 学校運営協議会委員（14名）

会長 工藤 治樹さん(同窓会長)
副会長 清和祐一郎さん(PTA会長)
委員 黒井 一男さん(区長) 伊藤 忠さん(区長) 大滝 郁夫さん(区長)
平藤 元明さん(区長) 高橋 治郎さん(区長) 上野 京子さん(民生児童委員)
遠藤 正之さん(りんご学習を守る会) 梅津 成夫さん(見守り隊)
佐藤 嘉男さん(書写指導者) 梅津 一成さん(PTA副会長)
阿部 礼子さん(PTA副会長) 五十嵐順子さん(学識経験者)
事務局 校長 岡部貞二 教頭 太田位子 教務主任 鈴木淳一

◇子ども達のいいところ

- ・素直で人懐っこい子が多い。 ・誰にでも気軽に話してくる。
- ・上級生が下級生の面倒をよく見てくれる。 ・学年に関係なく遊び、仲がいい。
- ・人間関係が密接で仲がいい。 ・男女の仲もいい。 ・明るいあいさつができる。
- ・思いやりの気持ちがある。 ・地域の方とたくさん関わっている。
- ・素晴らしい環境で学ばせてもらっている。(地域、先生、校舎など)
- ・りんご学習やドリームアートなどいい経験をさせてもらっている。(豊かな心づくり)

◆子ども達にがんばってほしいところ

- ・粘り強さとたくましさ ・あいさつ(自分からあいさつができるように)
- ・言葉遣い(相手の気持ちを考えて言葉を使えるように)
- ・あだ名(本人が嫌がっている場合もある) ・心の声が漏れすぎる事
- ・大人の注意に素直に耳を傾けること ・時と場をわきまえること
- ・登下校時に列を守って歩くこと ・もっと外で遊んでほしい
- ・人間関係が固定しがちなところ

☆子ども達の幸せな未来のために

- ・子ども達が地域に愛着を持てるよう、大人がその環境や接する機会をつくっていく。
- ・登下校時の危険に子どもだけでも対処できる「危険回避能力」を身に付けさせたい。
- ・もちろん課題もあるが、小学校のうちは「よさ」を大事にして伸ばしてあげたい。